



YMCA 大阪青年

6

2018年6月1日発行
1916年5月1日創刊
発行 / 小川 健一郎
編集 / 大阪 YMCA 広報室
〒550-0001
大阪市西区土佐堀 1-5-6
Tel 06-6441-0894
Fax 06-6445-0297
URL: <http://www.osakaymca.or.jp>

さあ、船出しよう!



聖書の御言葉の中に、“明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦労は、その日だけで十分である。”(マタイによる福音書6章34節)とあります。

今から50年前の1968年8月、徳島県阿南市那波江の海辺にYMCA阿南国際海洋センターを創立しました。多くの青少年たちに大海原と向き合っただけで自然を体験し、仲間づくりを経験することのできる岩をつくり、維持し、展開することが可能かどうかは半信半疑の中での船出でした。

そして50年経った今日、地元の地域社会の方々や、青少年教育、また野外教育に携わる方々の指導・協力によって、幼少年から青少年、さらには高齢者まで、開設以来82万人以上の利用をいただいで維持してきたこと、さらに発展し続けることができたことは、夢にも考えられないことです。

この背景には、開設当初から“大海原へ、青少年とともに”を合言葉に、この那波江の海辺で汗

を流し、また寒風にふれて凍える体をもとめせず、カヌー・ヨット・カヤックなどの漕艇、操船の実地指導に当たった数千人にのぼるボランティアの献身的な働きがあってこそのことでありました。また、地元の主婦たちの手作り100パーセントの栄養ある給食によっても支えられてきました。

当初から、黒潮に向かって海洋の諸活動にチャレンジするプログラムを、徳島県の橘湾全域で展開することの無謀さと冒険は、果たして可能か不安もありました。開設当初から多くの有識者からのアドバイスを受け、安全思想の徹底、徹底したレスキュー体制の確保に全精力を注いで、今日に至るまで一件の事故なく終始できたことは、稀有なことでもあります。今後も培ってきた伝統と精神、いわゆるシーマンシップの精神を軸にして、継承されるものと確信しています。

海洋センター本館の入り口に、詩篇の御言葉が銘板に掲げられています。“海も主のもの、それ

を造られたのは主。陸もまた、御手によって形づくられた。”(詩篇95章5節)とあります。英語でハーバー(港)とは、避難所という意味が元であります。明日を生きる青少年は人生の航海者です。那波江の海を魂のいと近い港とし、世界の海に船出してほしいと願ってやまないものです。ハレルヤ。



大阪YMCA元副総主事
YMCA阿南国際海洋センター元所長
さかい てつお
酒井 哲雄

■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭・地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

水上安全の取り組み ～大阪YMCAウエルネス事業～

こにし ゆうき
ウエルネス南事業長 小西 雄希

日本での水難事故者数、そのうち何人の子どもが亡くなっているかご存知ですか。多くのおみなさんは「水難事故とは関係ないから大丈夫」と思われているのではないのでしょうか。水難者※は日本全国で年間1,742名、そのうち約12%の217名が子どもです。(平成28年における水難状況:警視庁)また世界に目を向けると、約37万人の水難者が毎年います。(2014WHO Global Report on Drowning)

日本の、また世界のYMCAは、水難事故の防止について取り組みを行っています。日本では水上安全啓発としてウォーターセーフティハンドブックの無料配布、地域の小学校への着衣泳指導、YMCA水泳クラスにおいての水上安全スキルのレッスン、YMCA阿南国際海洋センターや野外活動を通して水上安全について学ぶ機会を設けています。

また、アジア太平洋地域のYMCA<YMCA ビクトリア(オーストラリア)、台北YMCA(台湾)、台中YMCA(台湾)、ソウルYMCA(韓国)、香港中華YMCA(香港)、メトロポリタンシンガポールYMCA(シンガポール)、大阪YMCA(日本)>が集い、貧困国での水上



安全教育の実施や水上安全教育カリキュラムの開発について協議を行っています。2018年5月11日(金)には、オーストラリアのメルボルンで実施されたアジア太平洋YMCAアーバンネットワークのアクアティックタスク会議に大阪YMCAからスタッフが参加しました。また7月にはオーストラリアからのスタッフを大阪YMCAに1年間招聘し、水上安全教育カリキュラムの作成と水泳指導に取り組んでいきます。普段のクラスで行っている4泳法の指導も、水中で目を開ける、浮く等、水難事故から自分の身を守る大切な技術です。

YMCA水上安全キャンペーンを通して、世界の子どもの水上安全を考える機会、私たち一人ひとりの生命について考える機会となればと考えています。

※水難者:死者・行方不明者・負傷者・無事救出を含む水難



私のYMCA体験

やまぐち
ウエルネス南事業 スタッフ 山口 ひかる



私がYMCAと関わり始めたのは2歳の頃です。「リーダー!きいて!幼稚園でね・・・」とプールのクラスが始まる前に、よくリーダーに話を聞いてもらっていました。プールが大好きで、リーダーとのおしゃべりも大好きで小さかった私が、今はスタッフとして、天王寺のYMCAで水泳クラスを通して毎日たくさんのお子どもたちと共に時間を過ごしています。私自身、20年経った今でも、昔のリーダーに顔を覚えてもらっていることが嬉しく、時間や人の「つながり」は消えないものなんだと実感しています。

「つながり」と言えば、2016年4月熊本での地震の後、私はユースボランティアリーダーと熊本県益城町に震災復興支援活動に参加しました。その時に繋がったプロバスケットボールチーム熊本ヴォルターズの保田ヘッドコーチを大阪に招き、昨年、震災復興支援のチャリティスポーツイベントを行いました。そこで集まった寄付金で「熊本-大阪のびのびキャンプ」を実施しました。

熊本の仮設住宅に暮らす子どもたちと大阪の子どもたちがキャンプを進めて行く中で、お互いのお互いの存在を気にかけるようになりました。支援活動を通して、人と人がつながり、支援の輪が広がり、そのことにより熊本の未来への復興にもつながっていることを実感しています。まさに、YMCAブランドコンセプト「みづかる。つながる。よくなっていく。」であると感じています。

これからも、様々な「つながり」を大切にYMCAで過ごしていきたいと思えます。



熊本ヴォルターズの保田ヘッドコーチ(前列右から3人目)を囲んで。2列目右から3人目が山口さん。

YMCAみんながつながるデイ開催 ～熊本と東日本の震災復興支援として～

うの みつひろ
ウエルネス事業部責任者 宇埜 充洋

2018年4月13日(土)、震災復興支援を一時的なもので終わらせないために、「YMCAみんながつながるデイ」を実施しました。熊本から11名、東日本から42名の被災者を阪神甲子園球場に招待し、さらには中日本YMCA(大阪、神戸、京都、名古屋、せとうち、奈良、和歌山)から約800名のYMCAに繋がる支援者が集い、阪神タイガース対ヤクルトスワローズを観戦しました。あいにくの雨にも関わらず、被災者による始球式やジャンケン

イベントなど、参加者には十分に楽しんでもらえる内容でした。ボランティアリーダーOB・OGや中日本のYMCAに連なる方々が共に応援することで、YMCAブランディングもあいまって、集ったみんながつながって一体感を感じることができ、有意義な一日となりましたこと、感謝を持ってご報告させていただきます。今後も震災復興支援を引き続き実施してまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



300回を迎えた早天祈祷会

まきぐち のぞむ
大阪YMCA早天祈祷会 世話人代表 牧口 望

「キリストの生き方と教えに学び、苦しみに直面している人々のために祈り、心を砕き、重荷を分かち合う愛と奉仕の生き方が社会の中で実践されていくように、共に祈る機会を創設していきたい。」1993年4月に決められた世話人会趣意書に記載されています。

翌5月から始まった「大阪YMCA早天祈祷会」。毎月第3金曜日、一度も欠かすことなく続けられ、2018年4月14日(土)、300回を迎えました。

今回、大阪YMCA元理事長の西村耕さんをお迎えし、「一つとなるために」と題してお話いただきました。

教育とは、共に希望を語ること。教育とは、持っているものを引き出すこと。与えられた命の貴さに気づくことの大切さ……。お人柄がにじみ出て、素晴らしい時を共有することができました。

設立時より中心になって祈祷会を支えられ、既に天に召された先輩諸氏の思いを引き継ぎ、より祈りの輪を上げ、主が示された使命を実践していきたいと願っています。



6月4日は“虫歯予防デー”です

YMCAたかつきあま保育園 スタッフ たなか あさこ 田中 麻子

毎日の食事は、歯の健康ととても深い関係があります。特に歯が作られている子どもの時期の食習慣は、大人になってからの歯の状態にも大きな影響をおよぼします。YMCAたかつきあま保育園では、この大切な時期に子どもたちの歯が丈夫に育つように様々な取り組みをしています。

健康的な歯を育てるためには、カルシウムやたんぱく質等、栄養をバランスよくとる必要があります。また、子どもの好きなメニューにはカレーやハンバーグなど柔らかいものが多いのですが、顎の発達のためには、よく噛んで食べることも大切です。そこで、保育園の給食では、カレーの日にはサラダの中に湯戻ししないレーズンを入れたり、大きめに切ったりんごをつける等して、1食の食事の中に噛む必要のあるものが入るように工夫しています。また、おやつにはカルシウムが豊富な小魚や少し固めのかりんとうなどを提供し、よく噛む習慣を身につけながら栄養のバランスも良くなるように考慮しています。

さらに、歯をみがくことも大切です。食後に歯をみがかないままだったり、いつまでもだらだら食べていたりすると、口の中が虫歯になりやすい酸性の状態になってしまいます。そこで、食べた後には歯をみがくことを習慣づけて、虫歯を予防しています。

丈夫な歯を保つことは、健康な生活を送り続けるためにもとても大切なことです。皆さまもこの機会に、歯の健康について少し考えてみてください。



大阪YMCA早天祈祷会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

■第302回 日 時...2018年6月15日(金) 7:30~8:30

証 師...すえおか よしひろ末岡 祥弘 さん
(大阪YMCA前総主事)

場 所...大阪YMCA会館 10階 チャペル

問合せ...大阪YMCA 統括本部 総務
TEL:06-6441-0894
E-mail:info@osakaymca.org

みなくち みさと

水口美里さん

「憲法記念日知事表彰」受賞

学校法人大阪YMCA監事の水口美里さんが、大阪府知事から青少年活動の普及向上に貢献した功労者の一人として表彰を受けられました。水口さんは、大阪YMCAのボランティアグループ全体の方針策定に関わる一方、大阪市内を中心に青少年のボランティアの発掘と養成に広く関わり、国際交流支援へも尽力されました。

5月7日(月)に大阪国際会議場ホールで行われた表彰式に参加され、まつい いちろう松井一郎大阪府知事から表彰状を授与されました。この度の受賞、心よりお喜びいたします。



会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2018年4月度報告・敬称略

【新規会員】

井口 真菜美
石倉 篤
宇土 有香里
岡田 由季恵
友藤 紗恵
西村 春菜
吉松 環

【継続会員】

足達 泰司
飯沼 眞
生雲 文枝
池上 正
池田 和弘
石井 種男
福岡 悠紀子
井上 陽子
岩坂 二規
浦川 哲也
瓜生 菊雄
尾形 文二
粕谷 和彦
神谷 尚孝
川岸 清

川添 貴子
北村 知三
久保 秀美
合田 彩夏
里見 公利
杉本 恵俊
澄川 菊代
隅田 保
高田 一

谷川 俊一
丹吾 礼
土居 健志郎
富賀 理恵
長尾 文雄
中村 隆幸
錦織 一郎
西村 博子
野間のぞみ
野村 忠彦
則武 秀尚
橋本 圭子
橋本 拓朗
日野 多栄子
廣島 義夫
福島 文子

藤井 英世
藤好 基子
藤原 正巳
古塚 千絢
前田 貴史
増成 恒哉
松尾 博之
松倉 幸作
松下 徹
松野 時彦
南出 和余
山崎 憲
山根 さゆり
吉田 絵美
吉田 全孝
吉田 由美
和田 早苗

【継続賛助会員】

株式会社朝日新聞社
大阪本社
京王観光株式会社
株式会社
サンケイビルマネジメント
株式会社
ジャパンビレッジウエスト
タキロンシーアイ株式会社
双葉電気通信株式会社

大阪YMCAのホームページで
その他の情報をご覧いただけます。

